

## 東郷ワーケーション 体験レポート

## ワーケーション期間中の写真・所感

## 【1日目】

京都市から車で2時間半程度で東郷到着。町中雪景色で、テンションUP！スタットレスタイヤにしてよかったと思った。美しい田園風景に心が躍る。



最勝寺／佐々木家にてチェックイン。

微住発祥の地として、台湾の方と交流が今でもあるとのこと。お寺で宿坊体験かと思っていたが、居住スペースは町家風リノベーションがおしゃれで、過ごしやすい。

大きなリビングルームには小上がりにこたつがあって、ワークスペースが自在に選べるもの魅力だと感じた。

お部屋はリビング奥の和室。子供とともに並んで寝るスペースだ。コンセントなどもあるので充電は困らない。Wi-Fiも完備されている。2階も地域交流を兼ねたスペースへと改装していているらしく、建築としても面白い。



一乗谷朝倉氏遺跡へ。  
快晴のなかの雪景色に心が躍る娘。

子連れワーケーションは、子供の過ごしが気になっていたが、雪と大自然で親子ともに伸びやかな気持ちになった。遺跡内が滑りやすい状態になっており、案内の方におすすめの回り方を教えていただき、町の人々の親切さに触れた。



夜はお鍋と地ビールで。食材は水の駅でほとんど購入。お米は宿のオーナーさんが「ぜひうちの米を食べてほしい」と、農家さん直々のお米を毎食炊いてくださった。これがめちゃくちゃおいしくて、娘は3杯おかわりを！おかずがなくても大丈夫なお米で、さすが「おつくね」の町だと感動。キッチン用具や冷蔵庫の中にある食材も「使ってください」と言っていたことに驚き。調味料なども期間中かなりいただいた。

夕食後はオーナーさんやワーケーションコンシェルジュの伊藤さんに町の話、町づくりの話をお聞かせいただいた。町づくりに大切なのは、資源とPR方法もちろんだが、何より年齢や地域を越えた信頼関係だと強く感じたお話だった。



## 【2日目】

朝食は杵と白で。朝食はワンプレート 500 円/品とリーズナブルでボリュームミー。毎週末に餅つきをしているようで、安倍川餅をサービスしてくれた。畳、障子、床の間、欄間、雪見窓など日本の伝統的な和空間でテーブル式の座りやすさが嬉しい。ゆっくりと時間が過ぎた。



朝食を終えるとワーケーション。リビングを借りて。木造建築がちょうどよい状態に加湿バランスを整えてくれて快適。キッチンも自由に使っていいと言っていたので、リフレッシュを挟みながら集中してできた。ワーケーション中、娘はトンデモ図書室伊藤堂で読書タイム。娘は「家みたいに過ごした」と喜んでた。伊藤堂から大量に本をお借りし、帰宅まで隙があれば読んでいた。私用にも貸して下さったが、福井の方の詩集や小説など、ユニークな本が多くゆっくり行きたいと思った。



夕飯はトックリ軒のオムライスとひね足をテイクアウト。ケチャップライスのシンプルなオムライスだが、粒立った米と香ばしい玉子の素材の旨さが引き立っていて飽きない味。ひね足は、歯ごたえがあって、そこまで濃い味付ではないが噛めば噛むほど鶏の旨味が出てくる。お酒のアテに最適。一味をかけるとさらに大人向けに味変。  
地域の増山さんが手作りアイスと交流のあるという台湾の方々が来られた時にいただいたという台湾ビールを持ってきてくださり、町の話や台湾の方との交流の様子をうかがった。



### 【3日目】

お寺巡りでは、東郷地区の街歩きも兼ねていただいた。田畑ののんびりした光景のなかに現れるという大森神社跡の鳥居や町の中心を流れる堂田川なども巡っていただいた。川や水路、川べりの河童など、昔ながらの街並みと目を引くようなモニュメントやスポットが混在しているので、歩いていて楽しい。鯉が泳いでいたりするので、散歩にぴったりだと感じた。



お寺巡りでぜひ立ち寄ってみてと言ってください、どんと焼きの準備の様子を見学させてもらった。毎年飾りをつけ、竹と藁、木でできた櫓は圧巻の大きさ。どんと焼当日にも子供たち作成の飾りをつけるようで、地域全体で取り組んでいることを感じられる。三社神社は私の居住地である京都の梅宮大社と友好関係にあるようで、毎年干支の絵馬を寄与されているとのこと。ここで京都とつながったことに驚いた。

テクノ法要で有名な照恩寺や稲荷神社など、東郷地区は、エリアの規模の割に社寺が多い印象。昔から、地域として栄えていたからではないかと感じた。



最終日最後のランチは昆沙門寿司へ。名物の鯖寿司とランチを娘とシェアした。鯖寿司は、鯖の厚みがか分厚く、脂が濃厚だった。店主は米作りもされていて、シャリは寿司に合うようにあえて古米まで寝かせるこだわり。ランチ用のごはんはもちろん新米で、味噌汁には揚げた玄米をあられのように振りかけで風味を出すなど、細やかな心配りを感じた。農家でしかできない使い分けに感動した。地域の方の居場所になればと語っていたのが印象的だった。



宿のオーナーに最後のご挨拶。大きな鏡餅をお土産にいただいた。縁起がよさそう。お米がおいしいからお餅も絶対おいしいだろうという期待が高まった。ずっとよくしていただき、感謝でいっぱいのお別れでした。



## ワーケーション参加者へのアドバイス

### 【立地、移動について】

福井市、東郷地区はアクセスが良く、福井 IC から 5 分程度、電車でも福井駅から 1 本、15 分程度で到着するため、通いやすい。新幹線の開通でより便利になると思う。街中にも出やすく買い物に困ることはないし、永平寺や鯖江などにも 20~40 分程度で着くので観光も困らない。

冬期のワーケーションは京都という近接地域からではあるが、気温差や雪の多さに驚いたので、暖冬地域の人には思った以上に防寒具、防水靴などが必要。路面も凍っている箇所があるため車はスタットレスが必須だと思う。京都市は雪がそこまで多くないので、通常タイヤで通年過ごしているため、今回のワーケーションではレンタルでスタットレスタイヤにした。履き替えもお店でしてくれ、タイヤも預かってくれるので、一時的に雪の地域に行く場合は 4 輪購入やレンタカーよりおすすめ。

ただし、車がないと移動が難しいので、電車の場合はレンタカーを借りた方がいい。越前東郷駅近郊にはレンタカーがないため、福井駅で借りることがおすすめ。レンタサイクルは可能なので、積雪時以外なら自転車利用は楽しいと思う。

### 【食について】

米どころ福井のなかでも「おつくね (=おにぎり)」が有名な東郷地区は、米、日本酒がおいしく、水路がしっかりしていることからその他野菜も豊富。地区内に飲食店は少ないにも関わらず困ることはないと思う。

宿泊した佐々木家は、キッチンのみならず食材の使用もしていいと言ってくださったので、食べたいものを食べたいときに楽しめた。

### 【宿泊について】

民泊スタイルなので、家のように過ごせたのは子供にストレスがなくよかったと思う。予想以上に自由度が高かった。町全体のリビングのように、地域の人が自由に行き来する家だったので、家主さんも多忙により不在が多かったが、ワーケーションコンシェルジュの伊藤さんも気にかけてくれ不自由することはまったくなかった。

### 【ワーケーション】

電波、Wi-Fi とともに良好でオンラインは問題なし。ただし、泊まったお部屋では時々Wi-Fi がつながりにくくなったので、ワーケーションはリビングのほうがいいと思う。自由に休憩を取りながら仕事ができ、環境がとても静かなので集中しやすい。佐々木家は木造で温かい家、間取りや造り全般過ごしやすくオンオフメリハリをつけやすい環境だと思う。お寺でもあり、お客さんが多いため、会議や打ち合わせでタイミングが重なることも懸念し、イヤホンがあったほうがいいのかもわからない。

## ワーケーション施策に関するフィードバック

### ・地域交流とワーケーションについて

住民の方々との交流の機会をたくさん用意してくれ、親子とも楽しく有益な時間を過ごせた。町を知るといのは、住民を知ることだと思うので、こういう機会はあったほうが良いと思うが、ワーケーションでは当然締め切りなどがあるワーカーがいるため、ある程度の時間が提示される、事前に交流の機会があることなどの説明があるなど、ワーカー側の心構えがあるほうがよいかと思う。

### ・宿泊施設について

民泊は、地域に密着できる上、家のように過ごせる利点があり、ワーケーションと相性が良いと感じる。家がどんな家で、どんな部屋なのか事前に写真で見れるとベッドなのか布団なのかということから、準備がしやすいと思う。シャンプー、リンス、ドライヤー、タオルなどの洗面具、キッチン用品関連など何を借りれるのかはもう少し明記が必要に思う。防犯面は少々気になった。不在時に施錠をしないため、町体験や観光目的の旅だけならまだしも、クライアントと個人情報保護契約を締結しているワーカーは、パソコンを持ち込むワーケーションでは毎度外出時にパソコンを持参しなくてはいけない（個人情報保護目的含む）。せめて部屋に施錠がある、金庫がある、合鍵などの対策が必要に感じた。

### ・子連れワーケーションについて

子連れワーケーションでは、仕事中的子供の居場所の確保が必要だが、「自然」は最大の遊び場だと思う。雪があるだけで子供は楽しかったと言っていた。トンデモ図書館などほっこりできる場所もあり外、内で楽しめる場所がとてありがたかった。駄菓子屋さんを時々しているようだったので、次は実施されるタイミングで行ってみたいと思った。アクティビティとして、壮大な自然を活かしたおもちゃ作りやお料理体験、アスレチックなどがあると親子は利用しやすいと思う。大きな公園も少し遠いようだったので、小学生くらいが自分で行ける公園までのバスや送迎があるといいのではないか。今回季節柄バーベキューができなかったが、ソロキャンプも流行っているので、野外炊事ができる場所があると勝手にキャンプやバーベキューをしたい人はいるのではないか。

### ・ターゲット提案

福井は移動がやすく、自然、食、歴史・文化遺産も豊富なため、私のような40代の中年層にも興味が向きやすいと感じる。若年層には、トンデモ図書室など古民家×アート、杵と臼などの古民家カフェなど、あるいは街中に気軽に出来ることを訴求してもよいのでは。

### ・体験アクティビティについて

今回のように体験があると、「交流」と「個」のバランスがとても良いと感じる。自分の思い思いの過ごしと、町の人との交流で街そのものを感じられ、より町への愛着が湧くと思う。

### ・ワーケーションで必要と感じていること、制度提案

ワーケーションにはネットワーク等のインフラと食、観光より気軽に行けるコスト感も大切に思う。ホテル暮らしでは毎食外食や購入となるため、民泊で自炊ができ、調味料などもあるという点はメリットが高い。連泊割引や補助があるとより利用しやすいのではないか。娘しか行っていないがトンデモ図書室、杵と臼など、落ち着いて過ごせる場所が点在しているので、ワークスペースが佐々木家だけでなく、移動可能であると新鮮な気持ちで、町を感じながら仕事ができるかもしれない。

・所感

地方の個性を作っているのは「歴史」だという言葉聞いたことがある。東郷地域はかつて朝倉氏の拠点として栄えており、また水が豊富で食が安定していたことが、人々の温厚な人柄から感じられた。移住にせよ観光にせよ、排他的な場所では長居はできないが、いていいんだと自然に思わせる雰囲気がこの町の最大の魅力だと思う。ワーケーションコンシエルの伊藤さんはじめ、移住した人たちが案内してくれることで、町の魅力が感じられた。四季それぞれに魅力がありそうなので、また温かくなったら行きたいと思った。